

甲斐市市民憲章の解説

<基本的な考え>

親しみやすさ、わかりやすさを基本としました。

新市将来構想を受けるとともに、市内小中学生及び市民から募集した「甲斐市へのイメージや市民の望み、願いを表す言葉」の内容を極力とり入れました。また、誰でも覚えやすい平易な表現にするため、和語を用い、耳に優しく、暗誦しやすいように七・七調のリズム感あるものにしました。

◎ 前文について

竜王町・敷島町・双葉町が合併したことを「ひとつになり」ということばで表現しました。また、生活快適都市のまちづくりへ向けて、市民が主体的に関わっていこうとする意識を込めました。

◎ 本文について

本文は、条項数は五つとしました。

文体については、文末を「…まちをつくります」とし、市民の立場での意思表示を強調しました。

内容については、まず、ことばの応募の中で圧倒的に支持されている「緑豊か」を最初に挙げました。次に、健康で安全な生活をめざして、緑豊かな自然に育まれる「命」の大切さを掲げました。さらに、地域活動や生涯学習等を通して、福祉のまち・文化のまちへの発展を期待して、人間生活の基本となる「ふれあい」「思いやり・いたわり」「学び合い」をとり上げました。そして、最後に人間としての義務と責任である勤労・生産を掲げ、働く喜びと明日への希望があふれる「伸びゆくまち」としてまとめました。

○ 緑豊かな やすらぎのまちをつくります —自然・環境—

水や緑を大切にし、人と自然が調和しあった、美しい心やすらぐまちにしたいという願いが込められています。

○ 命はぐくむ すこやかなまちをつくります —健康・安全—

命を大切にし、心身を鍛え、いきいきと活力みなぎる健康で安全な生活にしたいという願いが込められています。

○ 笑顔あふれる ふれあいのまちをつくります —人の輪・思いやり・福祉—

思いやりの輪を広げ、互いに助け合いながら、家族や地域のきずなを深めたいという願いが込められています。

○ 知恵を出し合い 学びあうまちをつくります —教養・生活・文化—

教養を高め、情操を養い、地域の活動にも積極的に参加しあい、文化のかおるまちづくりをすすめたいという願いが込められています。

○ しごとに励み 伸びゆくまちをつくります —勤労・生産・発展—

働くことに誇りを持ち、地域の産業を育て、かぎりなく発展を続けるまちにしたいという願いが込められています。